培地の組成及びpH

	培地番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
培地1,000mLの組成	カゼイン製ペプトン	(g)	5	20	20	10	5	17		10	15	
	プロテオーゼペプトン	(g)	10							10		
	大豆ペプトン	(g)	3					3		3	5	
	ペプトン	(g)							10			
	肉エキス	(g)	2.4	10	10	5			5	2.2		
	塩化ナトリウム	(g)	0.01	1.5	1.5	5	0.01	5		3	5	5
	酵母エキス	(g)	5	2.2	2.2		5			5		
	肝臓エキス	(g)	3.2							1.2		
	ブドウ糖	(g)	10				2	2.5	10			
	乳糖	(g)		20	20							
	ポリソルベート80	(mL)	1	1						1		
	可溶性デンプン	(g)	0.5									
	リン酸二水素カリウム	(g)	1				0.5			2.5		
	リン酸一水素カリウム	(g)	1				0.5	2.5				
	硫酸マグネシウム	(g)	0.2				0.3					
	硫酸第一鉄	(g)	0.01				0.01					
	硫酸マンガン	(g)	0.007				0.01					
	硫酸亜鉛	(g)					0.001					
	硫酸コバルト	(g)					0.001					
	硫酸銅	(g)					0.001					
	L-システイン塩酸塩一水和物	(g)	0.5							0.3		
	シリコーン	(g)	0.2									
	消化血清	(g)								13.5		
	チオグリコール酸ナトリウム	(g)								0.3		
	牛心臓抽出液	(g)										500
	トリプトース	(g)										10
	ブロムクレゾールパープル試液	(mL)										1
	カンテン	(g)	15		15	15	15	20			15	
	水		適量	適量	適量	適量	適量	適量	適量	適量	適量	適量
	滅菌後のpH		7.1～7.3	6.9～7.1	6.9～7.1	6.9～7.1	5.9～6.1	7.2～7.4	6.4～7.0	7.2～7.4	7.2～7.4	7.3～7.5

注１）１号培地及び９号培地は滅菌後、100mLに対して馬脱繊維血液５mLを加えたものを使用する。
　２）５号培地のpH調整は、１mol/L水酸化ナトリウム試液又は希硫酸を用いる。